

ファイルメーカを使用したカスタムウェブ作成例

代々木ランニングクラブ

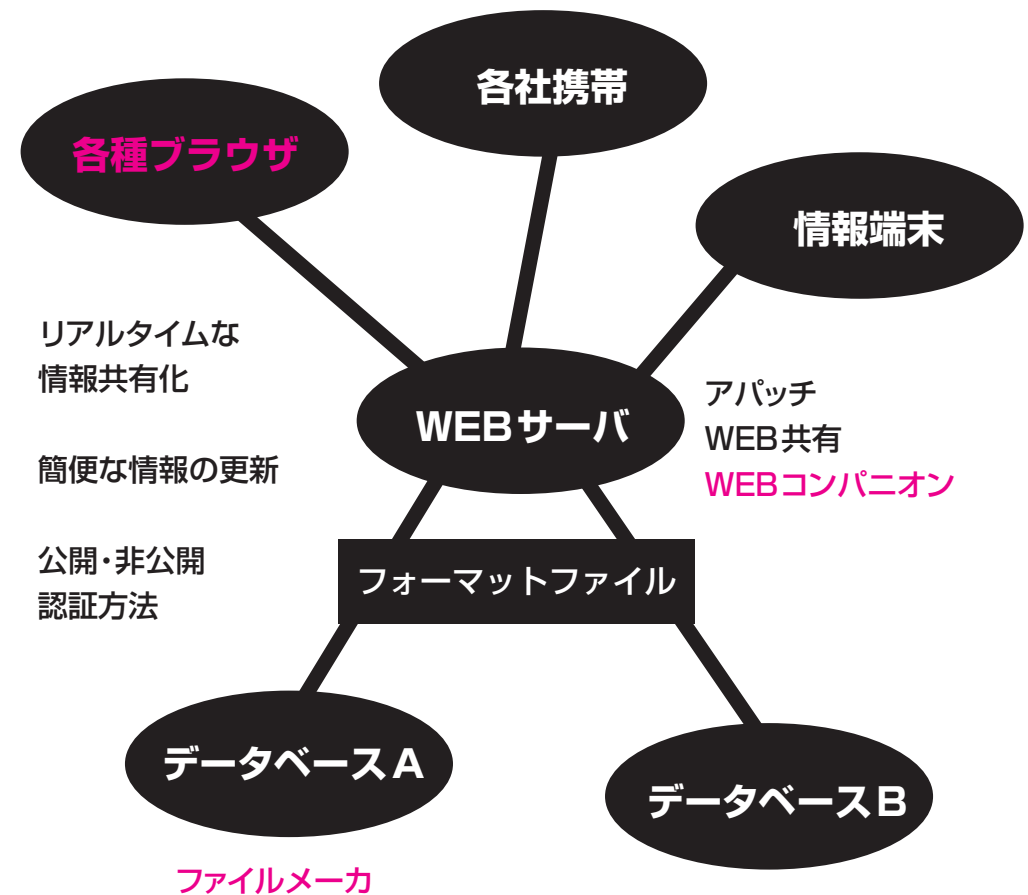
パソコンによって大きく変わったデザイン環境ですが、ここに来てウェブパブリッシングなどということがいわれるようになりました。ウェブパブリッシングとは単純にホームページを作る、発行するという意味ではなくて、ウェブを利用した情報伝達、情報共有の方法をもっと速く、簡単に、端末（パソコン、携帯電話、PDS）を選ばずにグローバルに行なうための方法と手段をどうやって作ろうかということになってきます。

その方法はいろいろあると思いますが、現在社内で実験できる方法としてファイルメーカのカスタムウェブ公開を利用したデータベース駆動形のウェブサイトをつくってみることで動的なしくみの理解とフォーマットファイルのデザインやバックヤード側のデザインの意義などの理解がしやすくなるかなと思ったわけです。

そうすることで近い将来の印刷物に変わるカタログのあり方のようなものも、見えてくるような気がします。

実際のファイルメーカの使用方法やCDMLの説明、DNSの設定等は詳しく書きませんが、代々木ランニングクラブを例にとり、おおよその理解がしやすいようにまとめてみました。

株式会社クリエイティブハウスイシイ
菊池



カスタムWEB公開に必要なもの

ファイルメーカーが起動するパソコン

ファイルメーカー4

(5以上はアンリミテッド版でないと同様接続10人までの制限あり)

公開するファイルメーカーデータベースファイル

フォーマットファイル

IPアドレス (できれば固定)

外部への回線



このページ以降は社内にある。

■代々木ランニングクラブの場合

dyndns.org

当社のIPアドレスが固定でないので、ダイナミックDNSサービスを利用して、その都度(30数日程度は固定なわけです)動的にふられるグローバルIPアドレスをcri-how.dyndns.orgに対応させるわけです。(インターネット側の人に、住所不定無職のcri-how.dyndns.orgさんの現在の居場所は211.0.12.12ですよと知らせるということです)

この方法は固定のグローバルアドレスが付与される場合は当然不要です。

ファイルメーカーProが起動してWEBコンパニオンになっているパソコン

192.168.0.34という固定プライベートIPアドレスに設定。外部からの591番ポートへの要求に対応するようルータを設定。(591番はWEBコンパニオンのポート、初期設定は80番ですがアップルシェアサーバが80番に対応しているため)外部からのアクセスはcri-how.dyndns.org:591となり、内部的には192.168.0.34:591です。

ファイルメーカーのWEBフォルダ内にフォーマットファイルを用意する。

公開するファイルメーカーデータベースファイルを開く

ADSLルータ

8Mbps

インターネット側
ADSL回線

100Mbps

ファイルサーバー

アップルシェアサーバ6.3です。社内での利用はファイルサーバーです。固定プライベートIPアドレスは192.168.0.2です。機能としてWEBサーバーでもあります。よって外部からhttp://cri-how.dyndns.orgと来た場合にはこいつが対応するようルータを設定してあります。(www要求は192.168.0.2へ行ってね)また、外部からセレクトで接続できます。ちょっとフォルダはここにあります。本当はメールサーバーにもなります。

個々のパソコン

個々のパソコンにはADSLルータのDNSサーバー機能により、自動的にプライベートIPアドレスがふられます。

外部レンタルサーバー
cri-how.co.jp/ysk

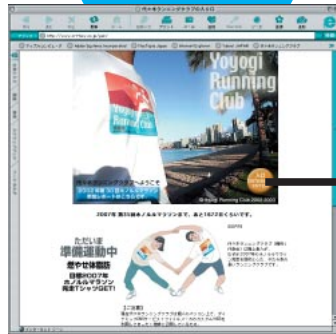


このページはレンタルサーバーにある

カスタムWEB公開 CDML(クラリスダイナミックマークアップランゲージ)とフォーマットファイル

外部レンタル
サーバー
cri-how.co.jp/ysk

インターネット側



ファイルメーカーProが起動してWEB コンパニオンを使用になっているパソコン



現在、代々木ランニングクラブにはコンテンツ格納用に
● 鍛練 (daily.fmj)
● グッズ紹介 (goods.fmj)
● データ (data.fmj)
の3つのデータベースと集計用のs.fmjという合計4つのデータベースが使われています。

黄色いデータベースの入り口をクリックするとファイルメーカーのウェブコンパニオンが対応してファイルメーカー WEBフォルダ内のトップページであり、フォーマットファイルでもあるindex2.htmlを表示する。
このとき、s.fmjという名前の集計用データベースファイルから個々のデータベースファイルにリレーションをかましてある最終更新日とレコード数の情報を受け取り表示するわけです。

WEBコンパニオンというキャバクラ嬢みたいな感じですが、その実態はファイルメーカーアプリケーション内に隠されているが、実はブラウザとデータベースの間を取り持つ、独立したアプリケーションで、要求に応じてHTMLを書き出すWEBアプリケーションサーバシステムととらえたほうがわかりやすいです。

さて、ブラウザからファイルメーカーのWEBコンパニオンへは次のように会話をします。
例えば黄色いボタンを押したとき、
<http://cri-how.dyndns.org:591/FMPro?-db=s.fmj&-lay=web&-format=index2.html&-FindAll>

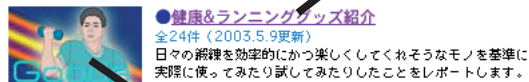
という要求が送られます。これは人間の言葉でいうと、
「cri-how.dyndns.org:591にあるファイルメーカープロさん?聞いてくれる?
s.fmjというデータベースのwebというレイアウトにあるフィールドの内容をindex2.htmlというhtmlページをフォーマットファイルにして、データを当てはめた状態で全部見せてくださいよ。」という意味です。
これがCDMLでの命令方法です。簡単ですね。

		today	集計			
レコード数:	2	鍛練 (daily)	Goods	DATA		
未ソート	レコード数	re	39	24	44	
	作成日	maxday	2003.5.12	2003.5.9	2003.5.9	

カスタムWEB公開 フォーマットファイルとデータベース

データベースの内容がフォーマットファイルによって表示されます。フォーマットファイル内にはCDMLタグという特殊なタグでファイルメーカーの表示するフィールドを指定します。2つのフォーマットファイルを用意して違うレイアウトで表示させたりできます。

データベースからフォーマットファイルの作成はホームページプロを使うと簡単に自動的にできます。自動といっても機械のやることなので、後でGoliveでデザインし直します。



●ファイルメーカーでの状態

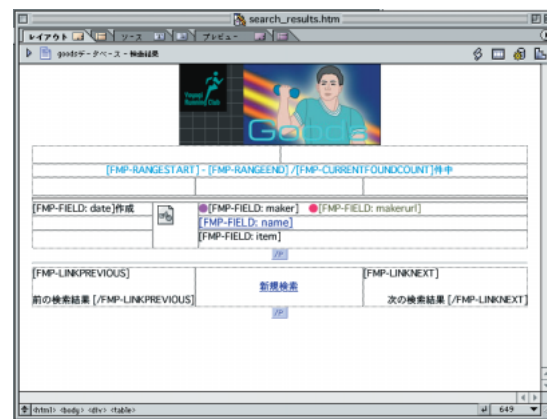


色やフォントの指示はデータベースファイルには不要。

●フォーマットファイル例 (Goliveで加工)

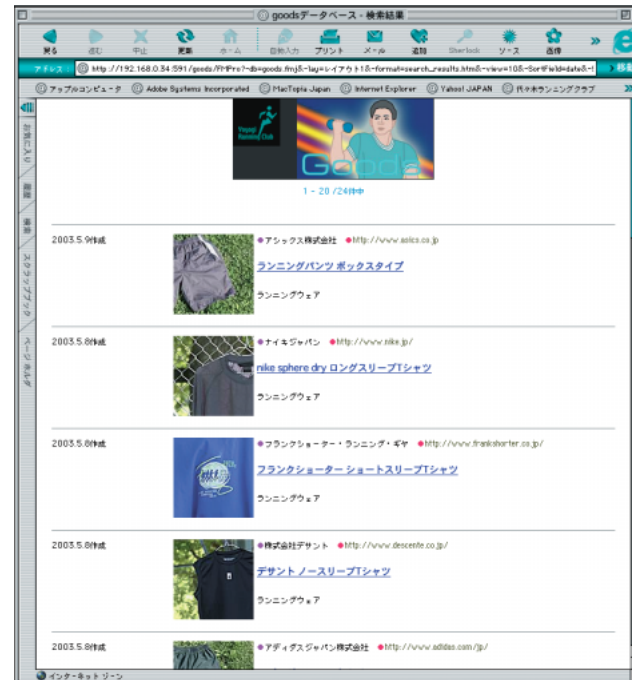
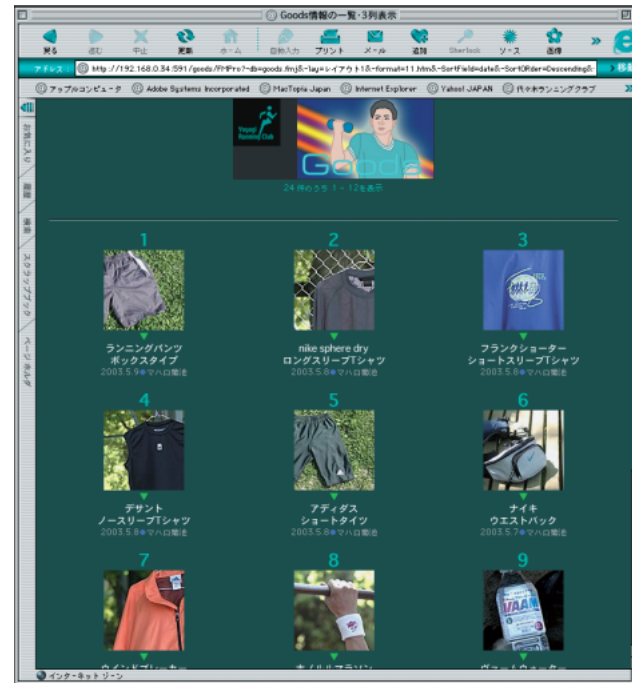


3列横表示はレコード番号を3で割ってあまりを求める関数と、割り切れる時には行を挿入させるIF文で可能です。



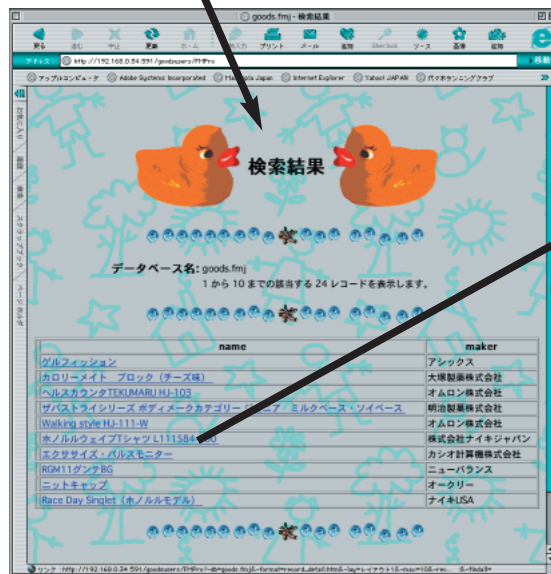
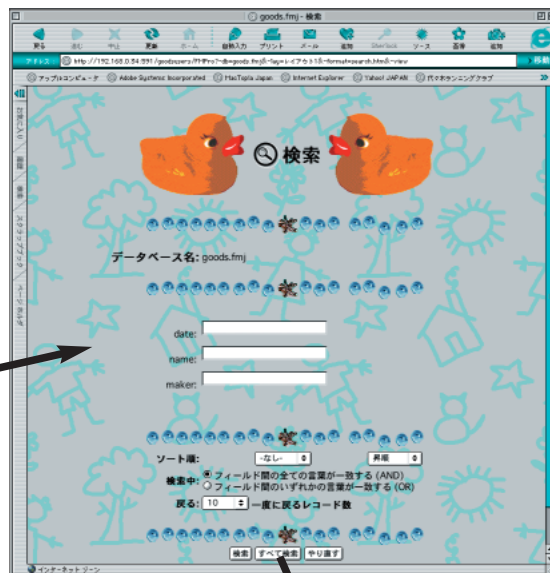
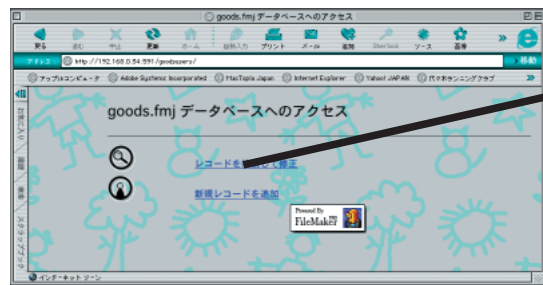
フォーマットファイルでの色やフォントの指示でHTMLがその都度書きだされる。

●ブラウザでの表示



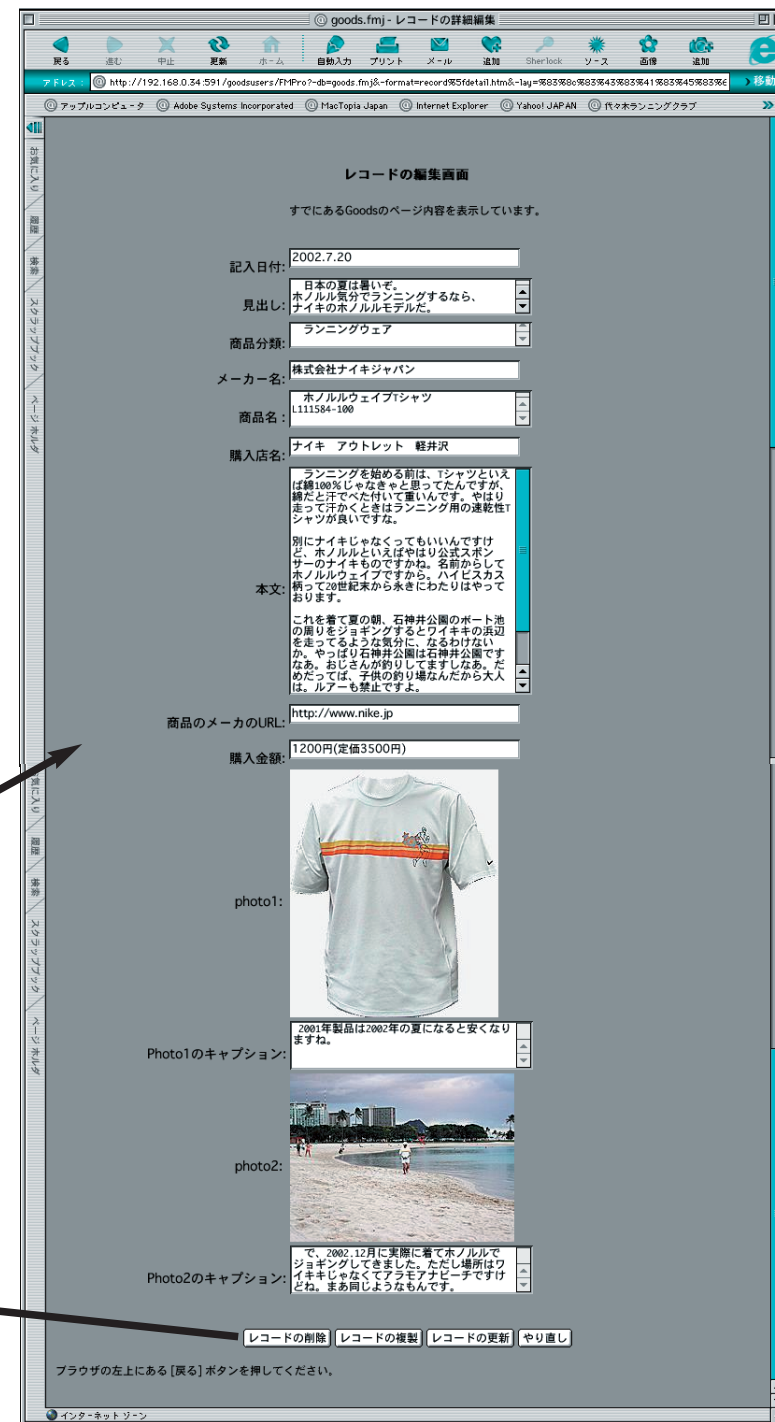
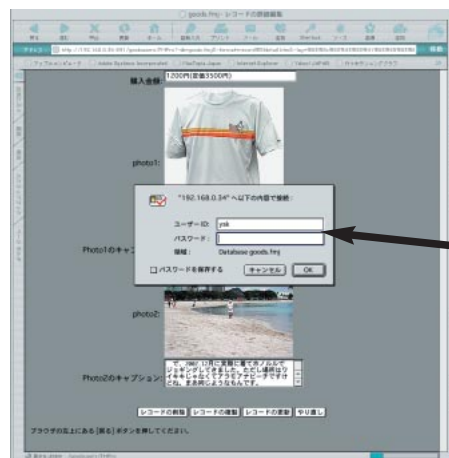
カスタムWEB公開 簡便な変更修正作業

フォーマットファイルさえデザインされてしまえば
普段の更新作業はあまりに簡単です。



バックヤードとして、修正可能なフォーマットファイルを用意することで、データベースの内容にはどこからでもブラウザからアクセスして新しいレコードを作成したり、内容を修正したりできます。修正はリアルタイムに反映されます。

ユーザー名とパスワードでファイルは保護されます。



カスタムWEB公開

強力な検索機能

ファイルメーカーの検索機能が当然ながら利用できますのでレコードがもっと多い時にも検索に便利です。

日付でのソートはもとより、金額順や50音順のソートなども便利です。

まとめ

- 独自のデザインでフォーマットファイルが作成できる高い自由度。
- データベース技術者の手を煩わすことなくそれなりの公開ができる。
- 同一フォーマットで更新や追加の多いものに向く。
- シンプルで飽きのこないフォーマットファイルのデザインが必要。
- 大規模な商用のサービスには不向き。

用途

- 連載的なウェブページの基本フォーマット
- データベースカタログ
- パーツリスト
- PDFカタログの検索システム部分
- 社内ナレッジマネジメントシステムのエンジン
(社員名簿、得意先電話、進行管理)

